

## 戸建分譲で市川市の景観賞 灯かりのいえなみ協定など評価

ポラスグループポラスガーデンヒルズ

昨年、千葉県市川市で開発・販売をした、戸建分譲住宅「佇美(たび)の家(全16棟)」が、第15回市川市景観賞(建築・まちなみ部門)を受賞した。

市川市景観賞は、良好な景観の形成に寄与していると認められるものを表彰することにより、景観に対する市民意識の高揚を図ることを目的として、歴史的・文化的な建築物や街並みなど、市の良好な景観を募集し、表彰するもの。

応募部門は、1. 建築・まちなみ部門、2. 啓発部門、3. 緑化部門、4. 清掃部門、5. その他があり、ポラスガーデンヒルズでは、建築・まちなみ部門で受賞した。今回が、第11回、第12回に続き3度目の受賞となる。

受賞理由は次の通り。「各住戸は石目調と木目調・チタンを組み合わせた素材感のあるデザインとし、寄棟屋根や高さを抑えたアクセントフレイムを採用することで、限られた敷地においても圧迫感を感じさせない空間を創出している。通り沿いに設けた花台やベンチは住民同士のコミュニケーションのきっかけとなるほか、外灯が自動点灯する『灯かりのいえなみ協定』の締結により、街の防犯性向上だけでなく、良好な街並みの形成に寄与している」。



ポラスガーデンヒルズ 設計部の松井孝治部長(右)、工藤政希課長(左)